

バンロム スペースヒータ制御器

デュアルセンサ方式採用。 絶妙なコンビネーション絶縁抵抗センサ・湿度センサ

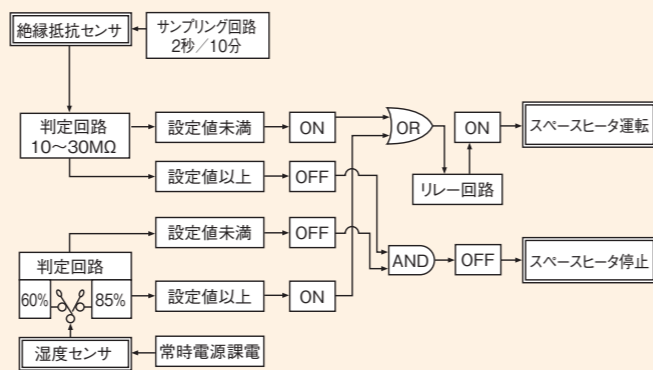


BANROM SPACE HEATER CONTROL DEVICE

●絶縁抵抗センサ・湿度センサで自動制御 (デュアルセンサ方式)

- 絶縁抵抗は湿度、温度、汚損に対して敏感に反応! この現象を利用したものが絶縁抵抗センサです。10~30MΩ絶縁抵抗値以下になるとスペースヒータをON、絶縁抵抗が回復すると停止します。
- 湿度センサは、低温、高湿度時、気象急変時の絶縁抵抗センサの応答速度の遅れをカバー。二つのセンサの組合せで、湿度の短期的な変動に加えて、吸放湿を含めた長期の絶縁性をも監視、制御司令が可能です。

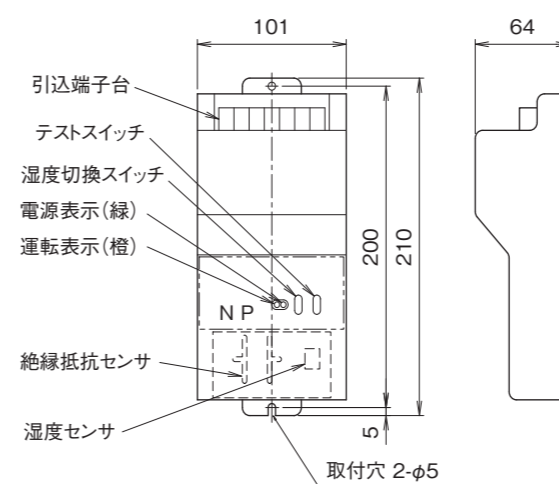
ブロックダイヤグラム



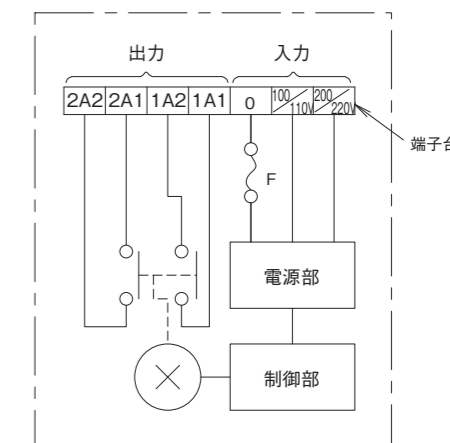
定格・仕様と外形寸法

型式	BRC-A3
使用電圧 (V)	AC100/110 および AC200/220 (50/60Hz共用)
消費電力 (W)	最大5
負荷容量 (A)	10 (抵抗負荷) (1台で複数のヒータのコントロールが可能)
絶縁耐力	AC1500V 1分間 Imp.(1.2/50)μs±3000V 3回
重量 (kg)	1

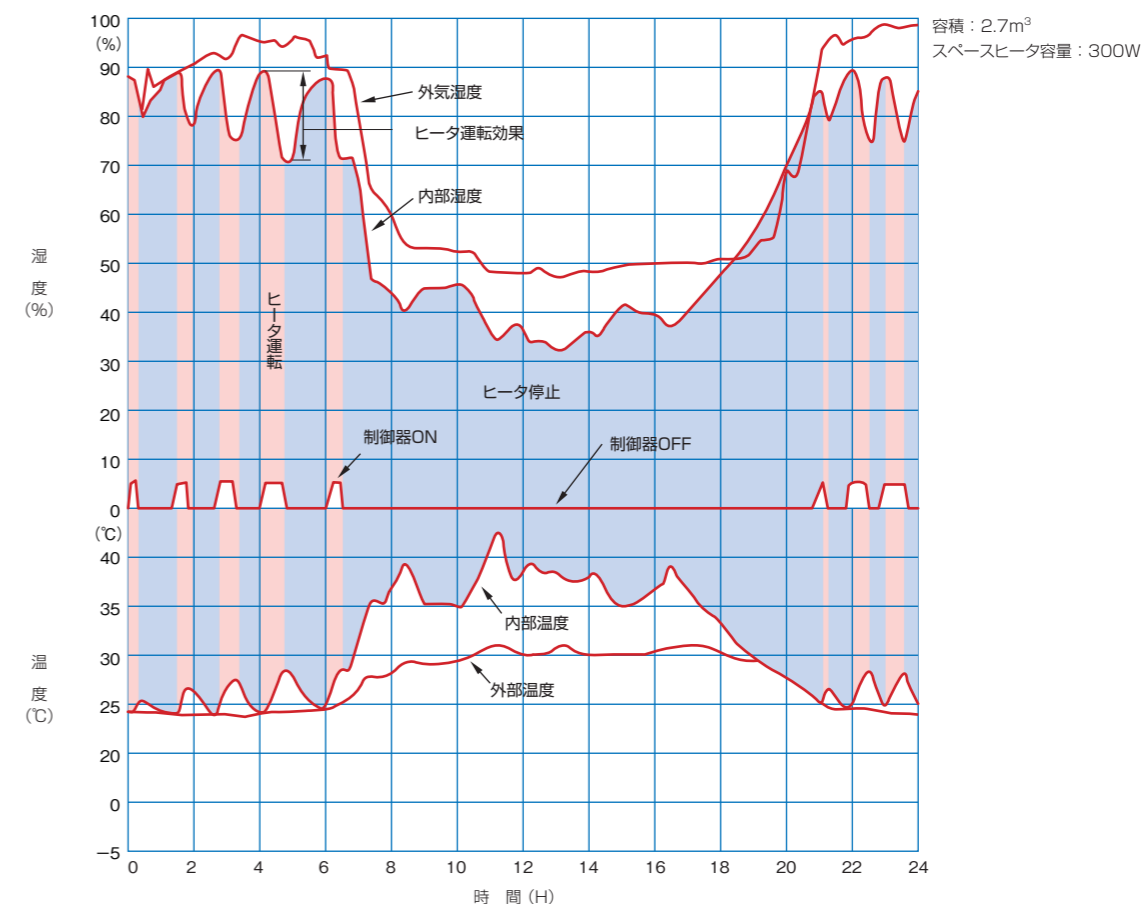
外形寸法



接続図



運転例



特長・原理

大幅な省エネ効果

必要時(絶縁低下時、多湿期)のみスペースヒータ運転。
大幅な省エネ達成 (対連続運転比80%お安くなります。)

保守費が不要

自動運転により、スペースヒータのON、OFF操作不要。

ヒータ電力コストを80%OFF

バンロムスペースヒータ制御器の適用により、大幅な省エネが実現できます。スペースヒータ連続運転時と同様の結露防止効果を保証して、電力コストは約80%お安くなります。また、スペースヒータは間欠運転となるため寿命も向上します。換気、保温の必要な設備の結露防止に不可欠な電子部品といえるでしょう。

長寿命

スペースヒータの延命化が図れる

●スペースヒータ運転コスト

